

学 校 関 係 者 評 価

結 果 公 開 資 料

学校法人ティビィシー学院

国際TBC高等専修学校

1. 学校の教育目標

教育・文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する。

- (1) 心豊かな人間性の育成。
- (2) 個性を尊重し、自己教育力の育成。
- (3) 専門的知識・技能の習得。
- (4) 不登校経験生徒の自己改革指導。
- (5) 規律を守り、真摯に学習する態度の育成。
- (6) 適切な進路選択能力、態度の育成。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 資格取得を重視する職業教育課程

3学年が継続して受験する漢字検定、英語検定をはじめ、コースごとにも資格取得の目標を設定し、独自のカリキュラムを設けている。常勤教員と現在プロとして活躍している講師陣との連携のもと、教科指導など様々に工夫された授業内容によって、無理・無駄なく確実に資格を取得できる。

(2) 不登校教育の積極的な推進

不登校経験者に対する独自の教育システムを採用し、入学後も専任のカウセラーによるバックアップ体制を確立。(個性を生かし、さまざまな事へのチャレンジを推進し、自信をつけさせる教育を推進していく。)

(3) 高等専修学校と専門課程の一貫教育制度(高専一貫教育)

卒業後、本学院の専門課程へ進学を希望する卒業生には、入学金の免除、奨学金制度などの優待制度を設置。高等課程・専門課程の連携で、より高い資格取得を目指し、進路実現を可能にする。

(4) さまざまな学校行事の実施

学校行事を通して、自主性・協調性・社会性を養い、楽しい学校生活の確立を目指す。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目		評 価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育その他の教育指導等の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
5	各コースの教育目標、育成人材像は、コース等に対応する業界のニーズに向けて 方向づけられているか	4

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

学校理念・人材育成像は、「生徒手帳」や一泊二日の新入生オリエンテーションで周知している。
保護者に対しても、入学前保護者説明会や三者面談を通じて生徒の学習状況や生活状況を
報告するとともに、学校・コースの目標などについて話し合いを行い、理解を得ている。
専門分野で仕事をされているプロの方を講師として迎え入れ、業界のニーズに沿った授業を展開
している。

② 今後の改善方策

各コース専門性が高く、それが本校の特徴ではあるが、能力的についてこれない生徒が増えて
きている。また、どのコースも選ぶことができず、とりあえずコースを選ぶという生徒も見受けられる。
基礎学力を向上させ、社会性を身に付ける指導が必要な生徒を対して、どう対応していくかを
考えていかなければならない。

(2) 学校運営

評 価 項 目		評 価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
5	教育・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

年度当初、教務部・事務局ともに事業計画を作成し運営している。また、運営組織についても有効に機能しており、規則等も整備されている。

教育活動等の情報公開は、ホームページなどを活用してリアルタイムに情報発信をしている他、生徒会新聞アンビシャスを作成し、保護者や関係者に配布し公表している。

業務の効率化については、校内ネットワークを完備し、情報の一元化や共有化等に対応している。

② 今後の改善方策

設備投資によるAI導入等の業務効率化を推進していく。

運営計画に沿った事業計画(日程)の変更は仕方ないことにせよ、事業時間確保の観点からできる限り計画の変更は少なく(もしくは計画通り実施)すべきである。

就業規則の閲覧(保管)場所の明示が必要である。

(3) 教育活動

評 価 項 目		評 価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえたコースの修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	コース等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8	職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

教育課程については、コースごとに教育目的や学習指導方針に沿って体系的に編成している。

また、技能連携先である科学技術学園高等学校の指導により法令に準拠している。

授業評価については、今後、全生徒対象に全教科の授業評価アンケートを実施し、その結果をすべての教職員で共有して、授業運営の再考・改善に活用していきたい。

外部団体が実施している検定試験の合格率などを検証して、カリキュラムの編成、授業内容の改善を行い、授業の一定レベルを確保している。

② 今後の改善方策

産業界との連携が上手くとれておらず、産学による職業体験・インターンシップ、実技・実習等は全く行われていない。また、インターンシップなどに送り出すことができるようになるまでの指導も時間も不足しているので、環境整備を急務に行わなければならない。

教職員育成に関する学内での研修会が実施できておらず、また、外部団体主催の人材育成講習会の実施数が少なく、教職員1人1人のスキルアップする場が非常に少ない。しかしながら、教職員のスキルアップの場を学内だけで設けるのが難しい現状であるので、TBC学院全体で教職員のスキルアップができる講習会や専門科目の講習なども実施できるよう働きかける。

(4) 生徒指導等

評 価 項 目		評 価
1	基本的な生活習慣の確立のための取組が行われているか	4
2	生徒の安全管理のための取組等(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある生徒等への支援など)が行われているか	4
3	生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	4
4	進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	4

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

基本的な生活習慣の確立のため、他の高等学校より遅い登校時間の設定などの取組をしている。年間皆勤賞・年間精勤賞だけでなく、年2回の月間皆勤賞なども実施し、達成した生徒に対しての報償も保護者から協力を得ている。

カウンセラー3名が、生徒本人だけでなく、保護者・家庭・担任を含めた協力体制を築けるよう努力している。入学後の対応はもちろん、入学前から不安を抱く生徒・保護者にも支援を行っている。進学就職指導については、校務分掌で各学年に進路指導部を設け、段階的・計画的に進路指導を行っている。

② 今後の改善方策

数年前までカウンセラーと保護者が勉強する会を実施していたが、参加人数やニーズの関係で実施されていない。保護者に対する講演会も実施したが効果的に疑問が残る。新たな企画を考えていきたい。

(5)特別活動等

評 価 項 目		評 価
1	クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	3
2	保護者会等と連携した活動を推進しているか	3

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

運動系の部活動については、栃木県定時制通信制体育大会に加盟し、県大会直前の6月上旬短縮授業なども取り入れ奨励している。また、大会参加諸費用や県代表となり全国大会進出の場合の諸費用などの部員個人だけの負担ではなく、保護者(PTA)の承認を得て、学校関係者全体で支援をしていただいている。

また、文科系の部活動については、爽涼祭(文化祭)1回だけの発表ではなく、学習発表会というイベントも設けて参加を呼びかけ、得意なもの興味・関心のあるものを発表できる場を設けている。また、文化祭をはじめ、授業参観などできるだけ多くの行事に保護者の参加(見学)を促している。さらに、あゆみの会(PTA組織)の活動を通して、保護者との連携や学校の理解を深めている。

② 今後の改善方策

保護者とも年1回、視察研修会を実施してきたが、参加していただける保護者の人数が減少し、数年間実施していない。企画内容を検討して、保護者と連携できる活動を実施しなければならない。

運動系クラブの活動が大会前の期間に限定されていることは否めない。職員以外の外部コーチに委託するなど検討も必要である。

(6) 学修成果

評 価 項 目		評 価
1	進学率や就職率の向上が図られているか	3
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

1クラス30名前後の少人数制・担任制を設け、きめ細かい指導ができる体制を作っている。また、学習指導部、進路指導部、生活指導部などの指導部やキャンパス課を設け、常に意思の疎通を図りながら生徒指導を行っている。

検定取得に関しては、コースごとに設定された専門の資格だけでなく、一般教養も含めた検定取得(漢字検定・英語検定、など)ができるよう授業展開をしている。

退学率に関しては、各学年ごとに退学防止に努めている。また、TBC学院全体でも退学防止委員会を定期的に開催し、各校での退学例を分析して、早期問題解決ができるよう連携をしている。

② 課題

学校から卒業生に対する動向の確認や活躍の把握はほとんどできていない。組織として校友会も設置されているので、校友会活動を活性化させることによって卒業生の生の声を聴き、学校運営・授業内容、ニーズなどの改善に取り組んでいきたい。

(7) 生徒支援

評 価 項 目		評 価
1	生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
2	生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	3
3	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
4	生徒の生活環境への支援は行われているか	4
5	保護者と適切に連携しているか	4
6	卒業生への支援体制はあるか	3
7	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
8	専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

入学時に実施する特待生試験による授業料の一部給付や早期出願による入学金給付などの体制は完備している。また、公的機関の奨学金制度などについても、保護者に積極的に通知している。

健康管理については、年度初めに全生徒対象とした健康診断を実施している。また、日常的な体調不良者に対しては、保健室を完備して対応している。

② 今後の改善方策

私立学校授業料無償化に向け、入学時に設定してある奨学金だけでなく、在校生に対する努力に報いる新たな奨学金制度を設置していく。

卒業生へは、ホームページやSNSを活用していくことで、多くの卒業生と繋がりを深めていく。

TBC学院の専門学校と5か年教育を推進しているが、専門学校の教員を招いてのキャリア教育・職業教育は実施していない。より高いレベルの専門性を学習する場を設けていきたい。

(8)教育環境

評 価 項 目		評 価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	3

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

教育や学校生活に必要な施設・設備は完備している。今後さらに必要となる施設・設備に関しても整備をしていくとともに、保守管理も適宜実施していく。

防災については、避難マニュアルを作成し、全校生を対象とした避難訓練を実施していく。

② 今後の改善方策

インターンシップなども含め、産業界とのパイプがない。産業界で活躍している卒業生に協力を得て、専門的な会社で実習などを受けることができる環境作りが急務である。そのためにも、まず現在行っている授業のレベルの検証作業が必要である。

(9) 生徒の受入れ募集

評 価 項 目		評 価
1	生徒募集活動は、適正に行われているか	4
2	生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

生徒募集については、パンフレット、募集要項、ホームページや雑誌媒体などを通して行っている。その内容についても、コース説明、進路状況、資格取得状況、授業内容など実績を正確に伝えている。技能連携先の科学技術学園高等学校にも提出し指導を受けている。学納金についても、教育内容に沿った施設・設備の充実、人件費や諸経費を考慮して算出している。

② 今後の改善方策

特になし

(10)財務

評 価 項 目		評 価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

財務については、収入超過であり問題はない。また、予算設定についても、在籍予想数から収入を算出しているため、学校の規模にそぐわない大きな投資をすることもなく、健全な運営をしている。

② 今後の改善方策

特になし

(11)法令等の遵守

評 価 項 目		評 価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	3

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

法令や専修学校設置基準等の改正等に沿って学校を運営している。

個人情報についても、細心の注意を払っている。

② 今後の改善方策

自己点検について、組織的に実施し、改善した問題点についても公開していく。

(12) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目		評 価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

適切 … 4、ほぼ適切 … 3、やや不適切 … 2、不適切 … 1

① 評価の根拠

中学生を対象とした職場体験や研究授業等は、積極的に受け入れている。

爽涼祭(文化祭)では、地域の方をはじめ、一般の方にも学校を開放している。

② 今後の改善方策

地域の方に対する公開講座や訓練講座を実施することにより、本校の教育目的を周知していくことが必要である。

ボランティア活動に関しても、保護者の同意などが必要となり、現在は積極的に活動はしていない。しかし、社会貢献という意味も含めて、生徒・保護者の理解を得ながらボランティア活動を広めていく必要がある。